

【森づくり基金と海のクリーンアップ事業】

コープさっぽろと連携協定を結びました。



左)きたネット理事長/金子正美
右)コープさっぽろ 専務理事/中島則裕さん

特定非営利活動法人北海道市民環境ネットワークは、2022年3月18日、生活協同組合コープさっぽろと「包括的連携協定」を締結いたしました。きたネットでは十数年前から、コープ未来(あした)の森づくり基金の事務局や企画会議に参加して、協働でさまざまな環境保全活動を行ってきました。2016年からは札幌市円山動物園での環境教育プログラム、2021年からはコープさっぽろが全道で実施するHokkaido海のクリーンアップ大作戦へノウハウの提供や、アドバイスをしています。今後はさらに連携を深め、様々な事業において相互に協力し、未来へ豊かな環境をつなぐ活動及び持続可能な開発目標(SDGs)に基づく協働事業を積極的に推進して参ります。

【ラブアース・クリーンアップin北海道】

2022年の石狩浜清掃は6/5開催

2021年のラブアース・クリーンアップ in 北海道の活動は、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、参加数は例年に比べて少なく、405企業・団体/11,443名でした。恒例の「ごみ拾いビーチウォーク」も中止となりましたが、有志の呼びかけで、あそびーち(石狩浜)の海岸のごみ拾い活動を実施しました。

2022年も、4月～11月に北海道各地で行われるごみ拾い活動の登録をお願いします!屋外活動が容認されて来ますが、距離をとり、密にならない工夫をしながら活動しましょう。ラブアース・クリーンアップin北海道のイベントは「オープニング!ごみ拾い」を4月20日に行いました。2つの企業から18名の方に参加いただき、すすきのごみ約10kgを収集しました。「ごみ拾いビーチウォーク」は6月5日(日)に、NPO法人北海道海浜美化を進める会(共催)やNPO法人ezorock、個人会員みなさんの協力をいただき開催予定です。



【全国中間支援3団体連携事業】

新型コロナウイルス状況下、ON LINEで助成サミット開催

【報告】NPO法人エコネット近畿/山下比呂さん



ここ数年、環境活動の促進をめざし、私たち大阪のエコネット近畿、北海道市民環境ネットワーク、地域の未来・志援センター(愛知)、3つの中間支援団体が連携して、各地域で環境活動者のための「助成金セミナー」、助成団体間の情報交換「助成サミット」などを開催してきました。「助成サミット」は助成団体同士の交流と共に、私たち中間支援団体が、助成団体に、市民活動者の声を伝え、より使いやすい、ニーズにあった制度にさせていただくことを目的としています。しかし昨年から新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となり、全国から参加できるため参加者は増えましたが、開催後のフォローアップが困難になりました。そこで、各団体の状況にあった支援を広げるため、2021年度は、以下の事業を行いました。

(1)助成サミット(2回開催)/「環境活動の『継続性』、存続の危機にある環境活動の支援の在り方」をテーマに開催、8団体・のべ24名に参加いただきました。第1回では、NPO法人エコ・モビリティサポロの栗田氏とNPO法人棚田LOVER'sの永菅氏にご登壇いただき、市民団体の運営や組織面の実態や悩みについて、鼎談型で話題提供しました。第2回では、パナソニックNPO/NGOサポートファンドfor SDGsの組織基盤強化助成を事例として、求められる支援の在り方についてディスカッションを行いました。アンケートでは、「助成金申請を受け付ける側は、申請団体の実際の活動規模が詳しくわからないので、こういったお話が伺えてよかった」という声もあり、申請書だけでは見えにくい団体の実態を知ってもらう機会になりました。2022年度は環境活動の支援の在り方と、助成団体の抱える課題を議論する予定です。(2)資金調達セミナー/中間支援3団体と、助成サミットに登壇いただいた棚田LOVER'sが共催し、助成金の選び方を学ぶ「助成金活用オンラインセミナー」を開催しました。私自身、初めての講師として緊張しながらも、活動内容に合った助成金の探し方や申請前のポイントをお話することができ、貴重な経験になりました。後日個別相談をすることを前提にセミナーの呼びかけをしたため、希望する方へのフォローアップに繋がりました。今後も、資金調達に関してはエコネット近畿が中心となって、継続的な個別相談に注力し、各団体に合った支援の強化を行う予定です。

NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

持続可能な社会に向けた地域づくりを行う市民団体、行政、企業の支援を行う中間支援組織です。①地域資源を活かす収益事業の構築、②団体・人材育成、③社会課題解決プロジェクトへの資金調達、④中間支援ネットワークの構築を柱に、講座や交流会の企画・運営や、事業等のコーディネート、個別相談業務を行っています。
<http://www.econetkinki.org/>

きたネット会員

KITA-NET MEMBERS



たのしも 一般社団法人 楽子森

「森が日常になるように」との願いを込めて

「子どもが真ん中で、楽しく森で過ごそう!」という考えのもと設立しました。現在、森のようちえん「いつもり」月1回と環境セミナー年2~3回を南区真駒内を中心に活動しております。

環境セミナーは、「札幌市民も発見できるかもしれない?謎めいた生き物の話」でシロマダラやコウモリのお話と、バットディテクターでコウモリを探索、かすみ網で捕獲にも挑戦しました。「石組み工で山道に階段をつくろう!」では、身近な平たい石を使い、圧力の方向を考えながら石を組んでいくという石組み工を学び、石階段をつくりました。「年末特別企画!稲わらでミニしめ縄づくり」では、自然栽培の稲わらを綱(な)って小さなしめ縄作りを行いました。

「木育」にも力を入れており「木であそぼin桜山」を共催し、森と触れ合ったあと自然物を使用したクラフトを楽しみました。10月には全国育樹祭のおもてなし広場にも参加、薄い木にパーニングペンで絵を描き、スマホカバーの着せ替えをつくるWSも行いました。今年は「ちよこつと木育ワークショップ」を開催。削り馬を使用したグリーンウッドワーク体験や木製おもちゃで遊ぶ企画も実施いたしました。今後も、SDGsを意識しながら、ふゆみずたんぼの復元、森でまな部~中高生対象に放課後森に集まり思い思いに過ごす「森部」(居場所)づくりなども盛り上げていきたいと思っています。森部部員を大募集中です!ボランティアも募集していますので、お気軽にお問い合わせください。
【電話】070-8985-0961 【HP】<https://tanoshimo.net/>



旭山森と人の会

野鳥や自然から人と人とのつながりへ

旭山森と人の会は、2002年、旭山都市環境林で活動する森林ボランティア団体としてスタートしました。当時は旭山記念公園再整備計画が進んでおり、そのワークショップの中で、森林ボランティア活動を通して得られたことを市民と行政との協働による公園維持管理にフィードバックさせることが目的でした。伐木作業、植生調査、生物調査、環境教育、ゴミ拾いや各種観察会イベントなど公園内での活動に携わりました。しかし設立メンバーが少しずつ離れるにつれ活動も先細りとなり、2010年代は「名ばかり団体」となっていました。

2020年代に入り、コロナ禍の中、旭山で野鳥観察・撮影を楽しむ人が増え、一気に人のつながりが膨らみ、公園や自然に関わる活動に興味を持つ人が増えた結果、野鳥を通して自然への理解を深めつつ人と人がつながる「新生」旭山森と人の会として、再び活動が活発になりました。現在は、月2回の野鳥観察会サポート、ゴミ拾い、笹刈り、公園樹木維持管理サポートなどの活動を行っています。

そしてもうひとつ、野鳥観察・撮影で旭山を訪れた方々への案内も重要な活動と位置付けています。公園内の観察ポイント紹介や季節の動植物の情報発信、時には公園外の野鳥情報も交えながら、日々楽しくお話ししています。旭山記念公園「森の家」を拠点に、野鳥や自然を通しての人と人とのつながりを大切にしています。野鳥や自然観察・撮影を始めよう、もう少し先に進もうと思ったら、ぜひ旭山記念公園「森の家」を訪れてみてください。

【旭山記念公園HP】 <https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyaama/>

きたネットチョイス

News

KITA-NET CHOISE



モリイク23号記事

「となりのヒグマとともに生きるために」ダウンロード・配布フリーとしました。

コープさっぽろ未来(あした)の森づくり基金広報誌「モリイク」23号(2022.4発行)に、きたネットmorinokoチームで、ヒグマの会事務局長・酪農学園大学教授の佐藤喜和先生のご協力・ご指導をいただき、アーバンベア、人に近いところに棲むクマと共に生きるための記事を作成、掲載しています。「ヒグマはそばにいる」という意識のもとで、必要な知識、装備や行動を提案する記事です。安全な暮らしのためにご活用ください。その記事を、コープさっぽろ未来の森づくり基金のご協力をいただき、どなたでも見ていただけるように、また、必要であればダウンロード、配布していただけるようにしました。ぜひ、ご活用ください。(記事の加工や部分利用、商用利用などは原則禁止、ご相談承ります) 本件に関するお問い合わせは office@kitanet.org



<https://bit.ly/3JWGJKM>



<https://youtu.be/dfLQxLi9G-E>



コープ未来(あした)の森づくり基金&札幌市円山動物園

「どんぐりプロジェクト」環境教育動画 秋・冬編を公開しました!

きたネットでは、コープ未来の森づくり基金が開催する北海道の森の豊かさ北海道の生物のいのちのつながりを学ぶ小学生を対象とした環境教育プログラム「どんぐりプロジェクト」の企画運営に関わり、会員みなさんのご協力のもと、2016年から年に4回、春・夏・秋・冬に、円山動物園で環境教育イベントを開催してきました。しかし2020年・2021年は新型コロナウイルス感染症対策により、プログラムの実施が難しい状況となったことから、この機にこれまでのプログラムの四季のテーマを4本の動画と、4本をつなげた総集編にまとめました。
●春~雪解け一番キーワードは「早起き」 ●夏~豊かだけど命がけ ●秋~森は実りの季節 ●冬~雪の森と春待つイキモノ
コープ未来(あした)の森づくり基金のyoutubeでご覧いただけます。